

2024年3月期 第1四半期 決算概要

2023年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証プライム)

2024年3月期 1Q決算ハイライト

中国の減収幅が大きく、原材料・資源価格高騰の影響もあり減益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比92.3%、7億円減の94億円。
	日本	前年同期比93.4%の32億円。 食品関連は好調に推移したが、自動車関連の落ち込みの影響大。
	中国	前年同期比86.3%の47億円。 自動車関連の主要取引先からの受注減少の影響もあり減収。
	東南アジア	前年同期比100.6%の4億円。 ベトナム、フィリピン、タイが好調を維持。
	欧米他	前年同期比127.4%の9億円。 全業種が好調を維持。
利益		営業利益は、前年同期比14.0%の98百万円 経常利益は、前年同期比48.5%の338百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27.9%の119百万円
ネット資金		配当及び賞与支給等により、期首から759百万円減少。



損益計算書サマリー(1Q比較)

(単位:百万円)

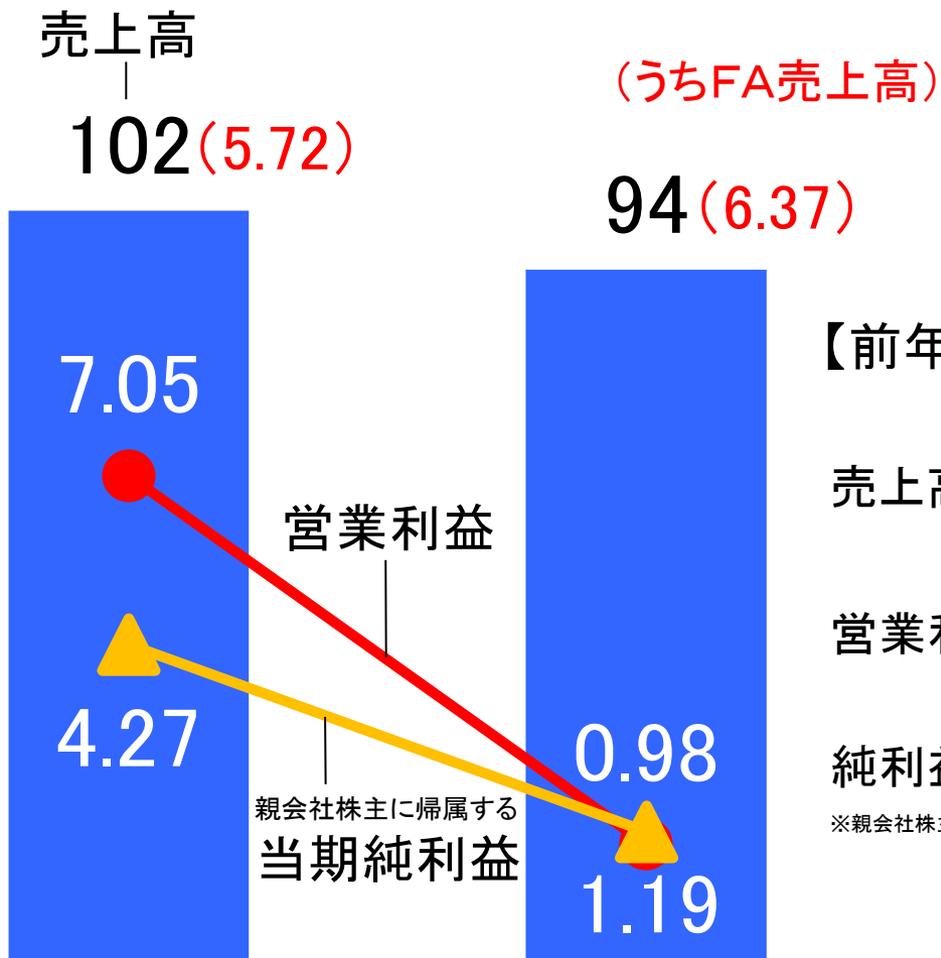
	2023年3月期		2024年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高		10,234		9,442	▲ 791	92.3%
営業利益	6.9%	705	1.0%	98	▲ 607	14.0%
経常利益	6.8%	698	3.6%	338	▲ 359	48.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.2%	427	1.3%	119	▲ 308	27.9%

為替レート(実績): 1人民元=19.33円/1USD=133.26円



売上高と利益(1Q比較)

(単位:億円)



(うちFA売上高)

【前年同期比較】

売上高	7億91	百万円	減収
営業利益	6億7	百万円	減益
純利益	3億8	百万円	減益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

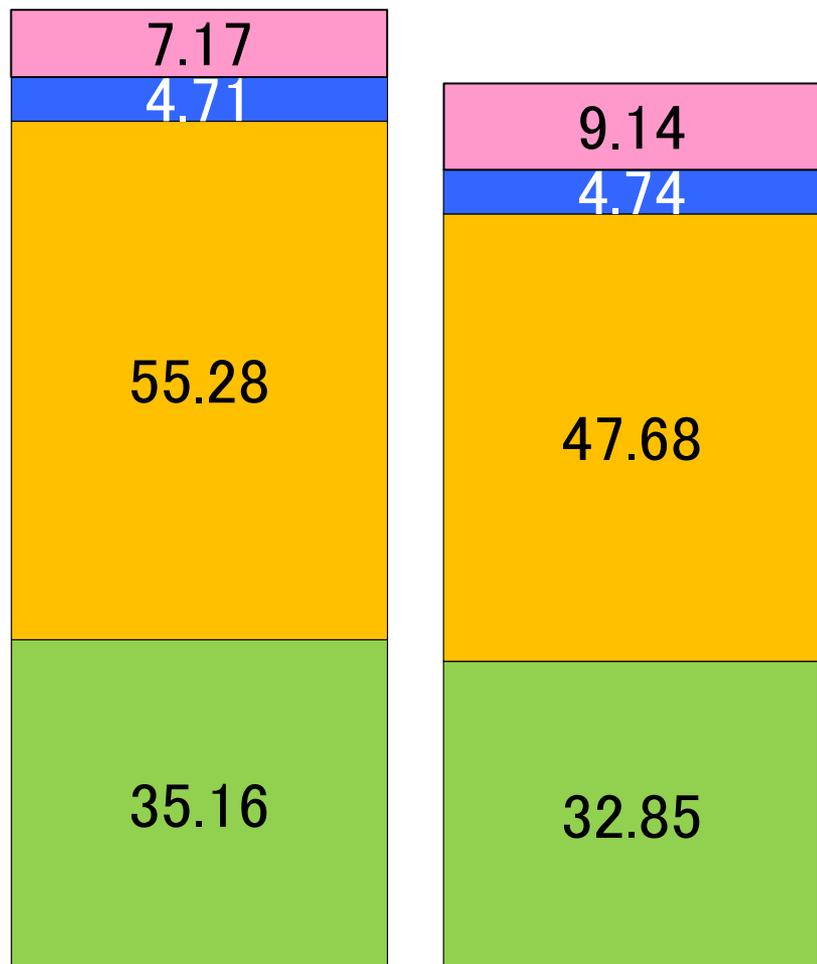
2023年3月期

2024年3月期



地域別売上高(1Q比較)

(単位:億円)



中国事業の減収幅が大きく影響

欧米他 食品・医療関連が堅調を維持

東南アジア 増収要素はベトナム、フィリピン、タイが牽引

中国 自動車関連が低迷

日本 自動車関連、電子部品・半導体関連が低調

2023年3月期

2024年3月期



業種別売上高(1Q比較)

(単位:億円)



全業種が前年同期売上に届かず
特に自動車関連が低迷中

- その他** 食品・医療関連が堅調
- 家電・精密機器** エネルギーコスト上昇などの懸念があり、市場全体が低迷
- 電子部品・半導体** スマホ向け需要失速で停滞
- 自動車** 日本・中国で新車金型の受注が低迷

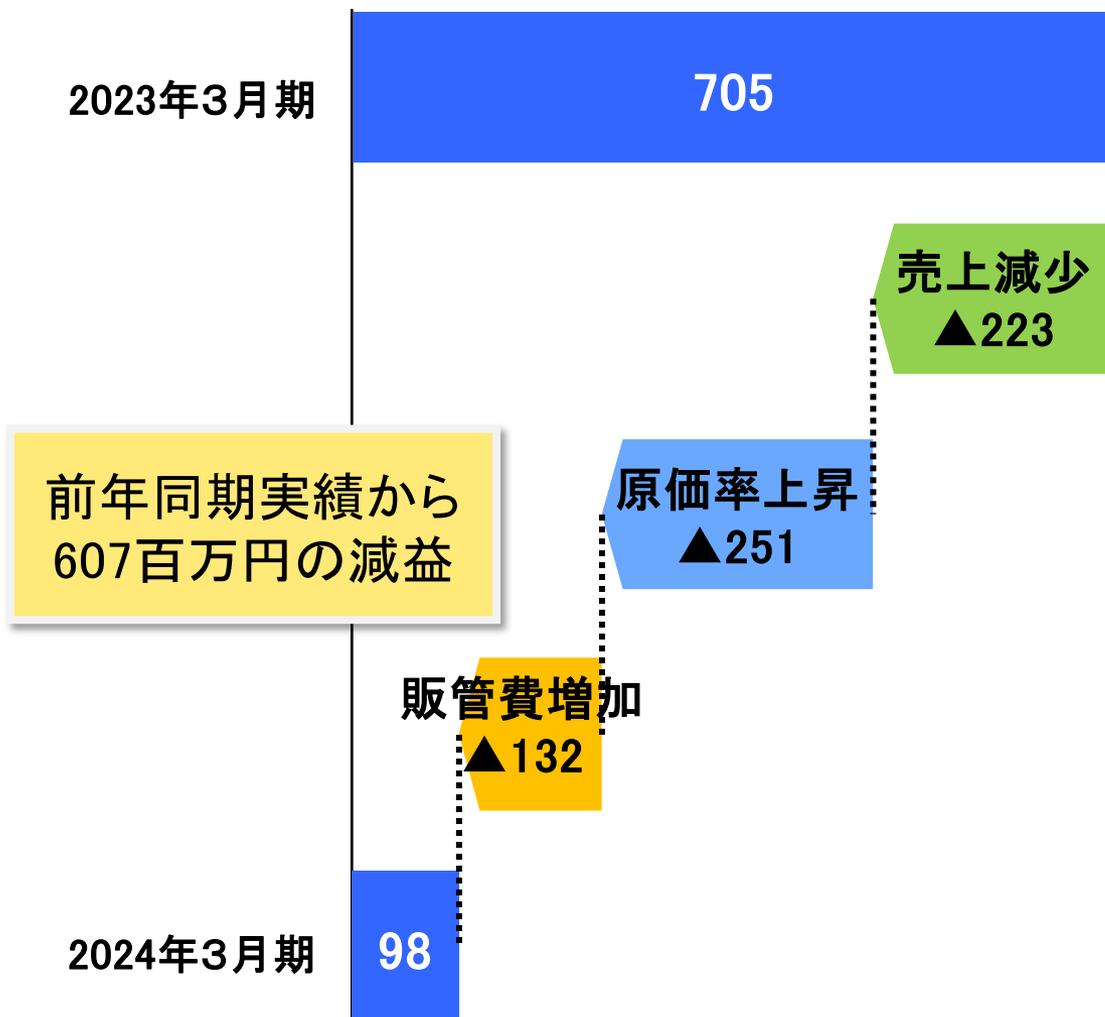
2023年3月期

2024年3月期



営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



【売上の主な増減要因】

- 中国・日本の市場環境悪化により減収

【原価率の主な増減要因】

- 売上減少に伴う稼働悪化
- エネルギーコスト上昇等が影響

【販管費の主な増減要因】

- 前期に抑制した営業活動の経費が増加
- ASCe株式取得ののれん償却費用の発生

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	30,455	29,518	▲937
総負債	11,403	10,268	▲1,135
うち有利子負債	2,997	2,701	▲296
純資産	19,052	19,250	197
ネット資金	2,215	1,456	▲759
自己資本比率	62.4%	65.1%	2.7pt

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	271	267	▲4
減価償却費(無形固定資産含む)	277	283	6



2024年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期 (実績)		2024年3月期 第2四半期連結累計期間					
			前回予想 (2023/5/12公表)		修正予想		前年同期差 (前年同期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	21,665		20,300		19,250		▲ 2,415 (88.8%)	▲ 1,050 (94.8%)
営業利益	7.1%	1,537	4.0%	810	1.7%	330	▲ 1,207 (21.5%)	▲ 480 (40.7%)
経常利益	7.0%	1,524	3.9%	800	3.2%	620	▲ 904 (40.7%)	▲ 180 (77.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.2%	905	0.6%	120	0.6%	120	▲ 785 (13.2%)	0 (100.0%)



2024年3月期 通期の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 連結累計期間			
		前回予想 (2023/5/12公表)		修正予想	前期差 (前期比)
売上高	42,799	42,000	37,600	▲ 5,199 (87.9%)	▲ 4,400 (89.5%)
営業利益	5.7% 2,436	5.1% 2,150	2.0% 750	▲ 1,686 (30.8%)	▲ 1,400 (34.9%)
経常利益	5.6% 2,394	5.0% 2,100	2.7% 1,000	▲ 1,394 (41.8%)	▲ 1,100 (47.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.2% 1,390	1.9% 800	0.3% 100	▲ 1,290 (7.2%)	▲ 700 (12.5%)
自己資本利益率 (ROE)	7.9%	4.2%	0.5%	▲7.4pt	▲3.7pt
投下資本利益率 (ROIC)	8.1%	6.9%	2.4%	▲5.7pt	▲4.5pt

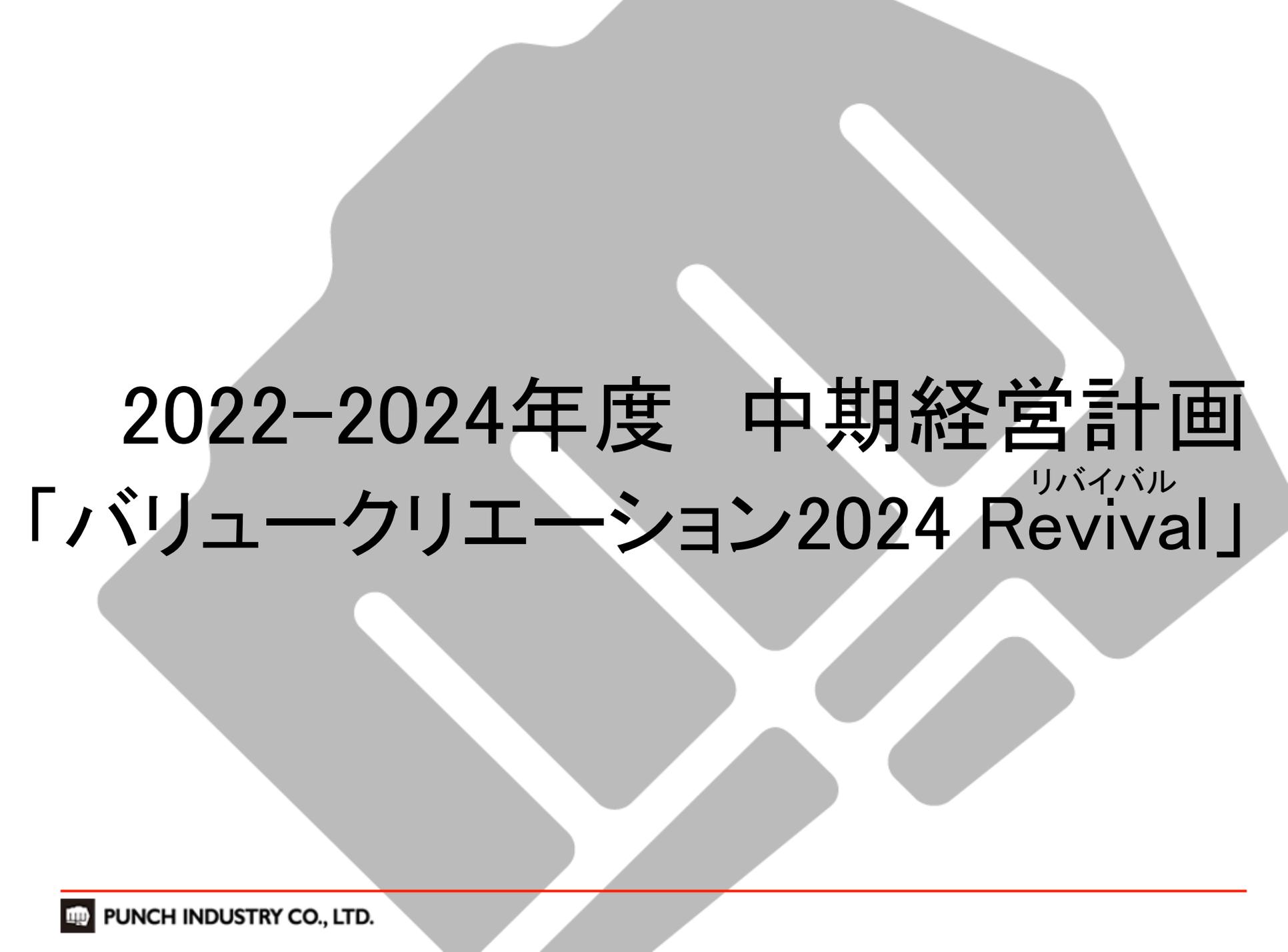
2024年3月期
配当予想

20.30円 = 中間 10.00円(予定) + 期末 10.30円(予定)

為替レート(想定): 1人民元 = 19.00円 / 1USドル = 136.00円

設備投資額(想定): 15億円 減価償却費(想定): 12億円





2022-2024年度 中期経営計画

「リバイバルバリュークリエーション2024 Revival」



「VC2024 Revival」の重点経営課題を再設定

付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す

株式上場

VC15

VC2020

VC2024 Revival

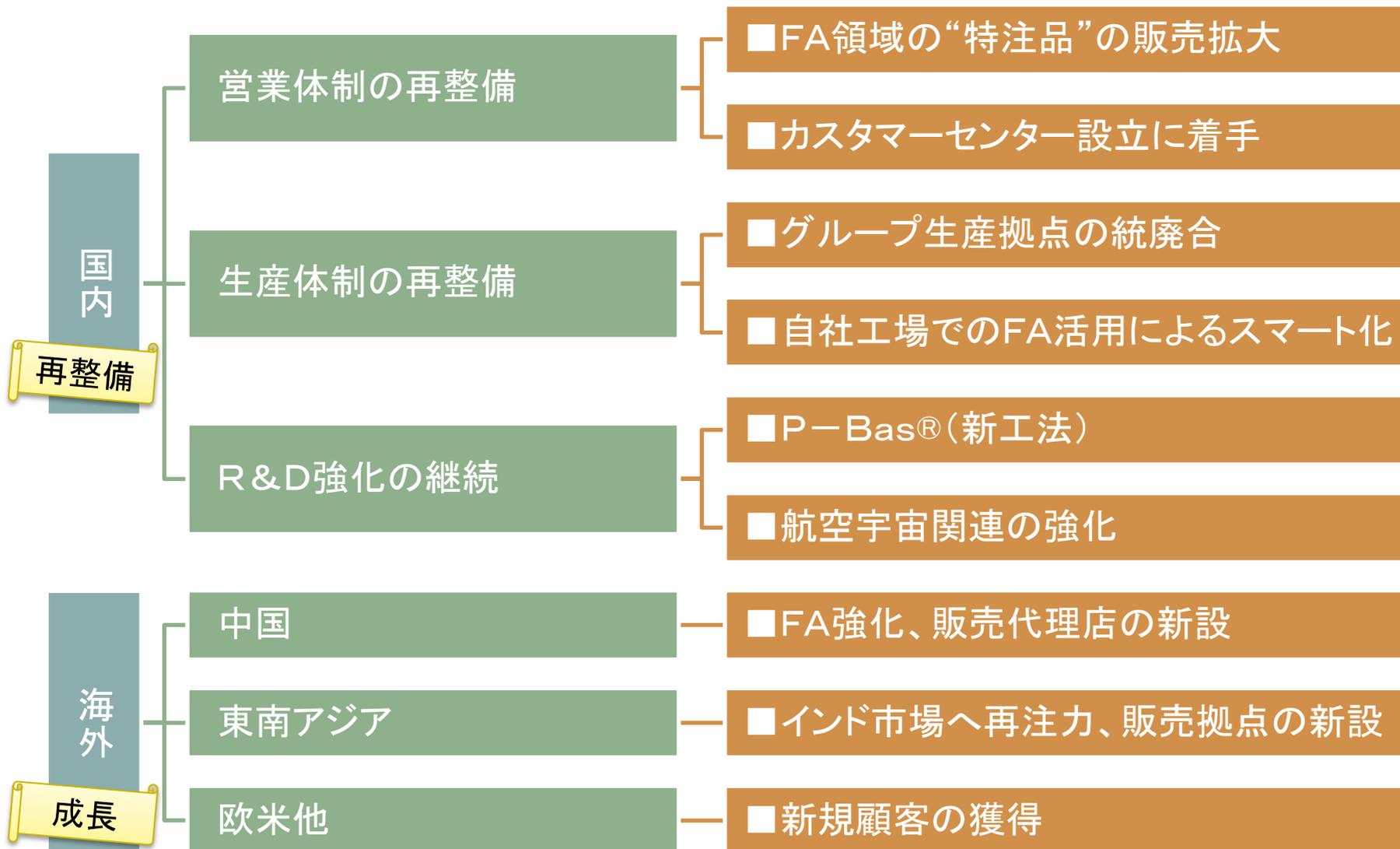
- 国内事業の再整備
- 海外事業での成長

- 販売5極体制の確立
- お客様サービスの向上
- 高収益事業の推進とR&D強化
- 働き方改革

- グローバル化
- 新市場の開拓
- 高収益事業モデルへの転換



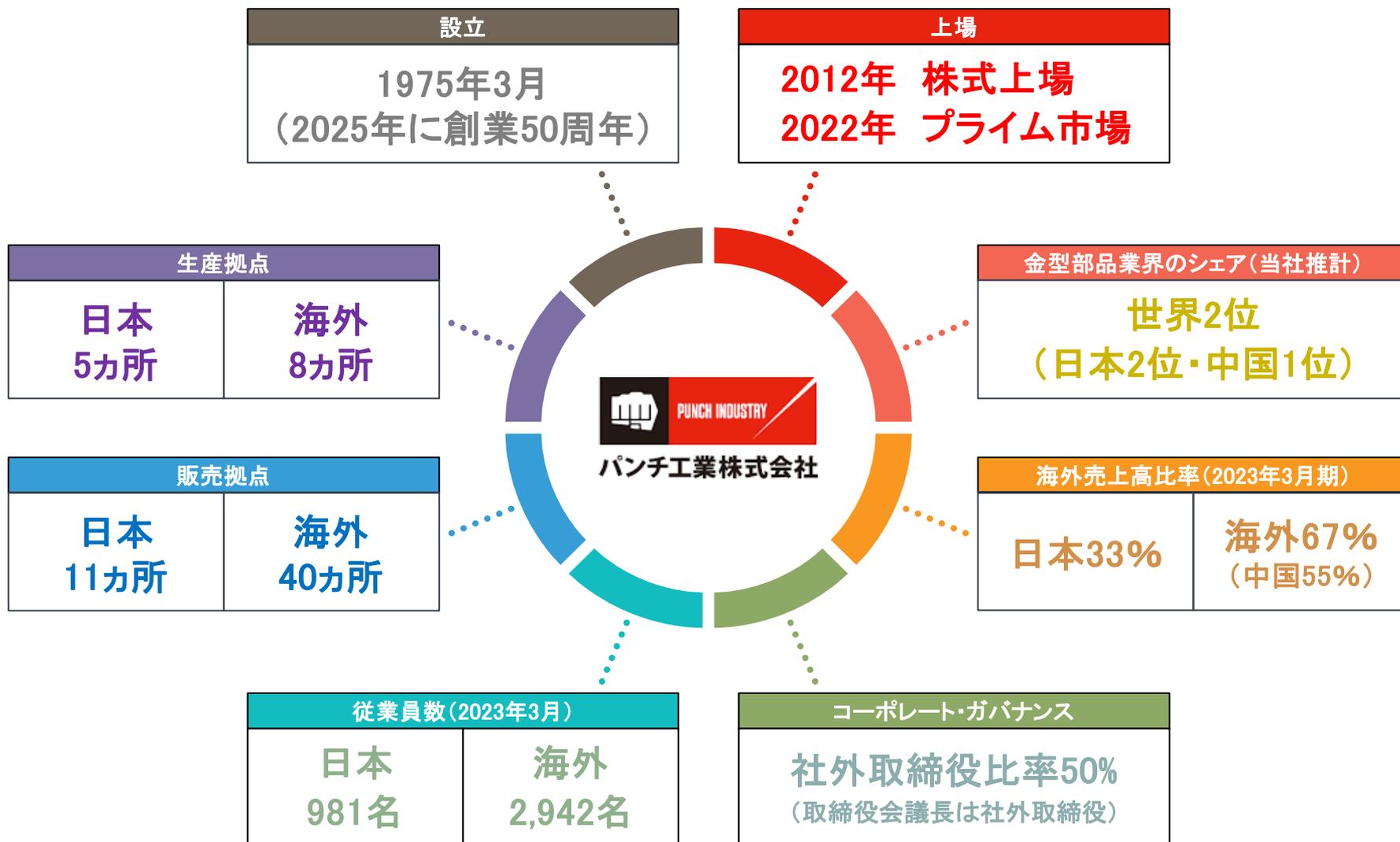
「VC2024 Revival」の重点施策



参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

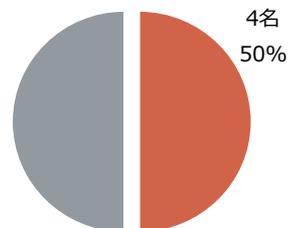
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

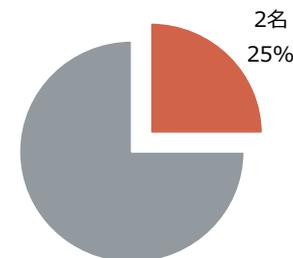
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
	社外取締役	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率



女性取締役比率

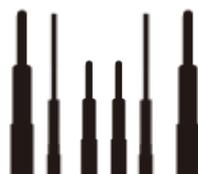


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



たとえばこんな部品



金型

構成部品を速く、
均一に、大量につ
くるための金属で
できた「型」

構成部品

製品を構成する
ために必要となる
パーツ

製品

自動車や家電など
私たちが身近で使
うさまざまな製品



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分が成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができて上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



パンチグループの特徴

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

カタログ品
汎用性の高い標準製品を
豊富にラインアップ



タイムリーで
的確な
ソリューション

特注品
カスタムニーズにも
柔軟に対応



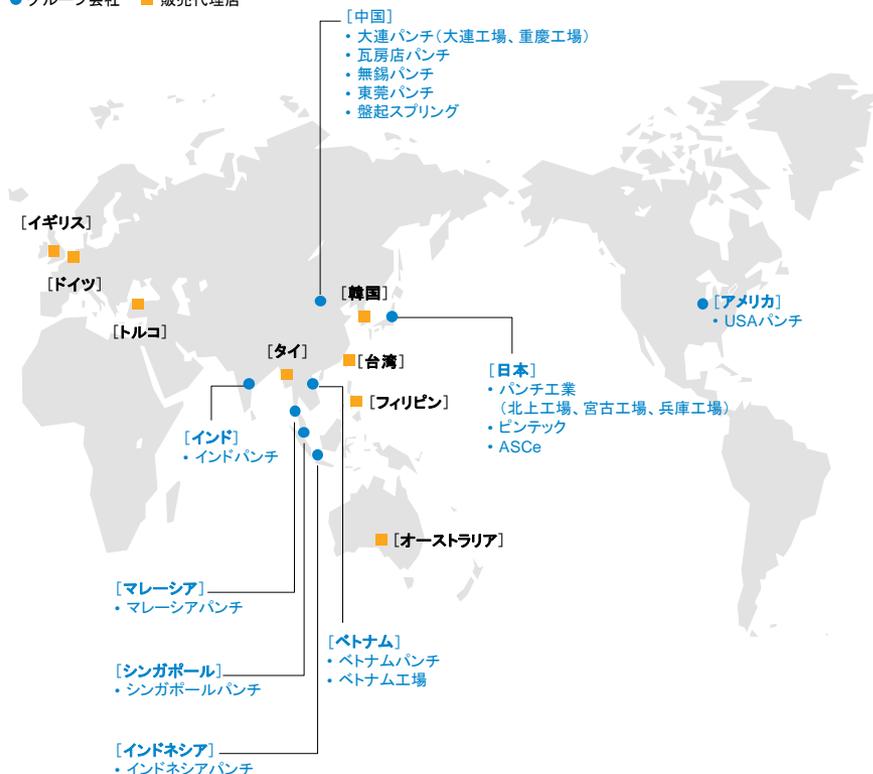
**一気通貫の
生産体制**
2,000台の設備で
幅広い対応力

**お客様密着型の
営業体制**
きめ細かな
対応・提案力

高い技術力
創業以来培った
ノウハウと
たゆまぬ研究開発

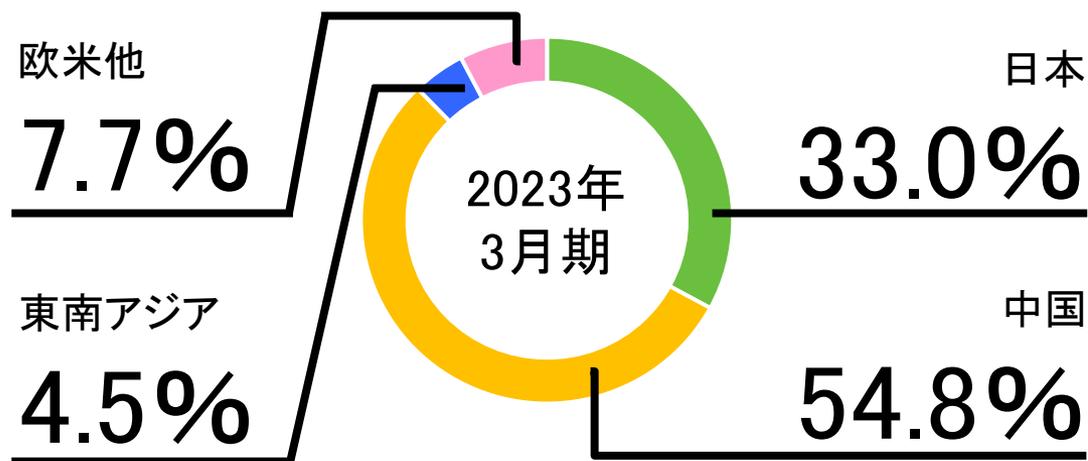
パンチグループのネットワーク

● グループ会社 ■ 販売代理店

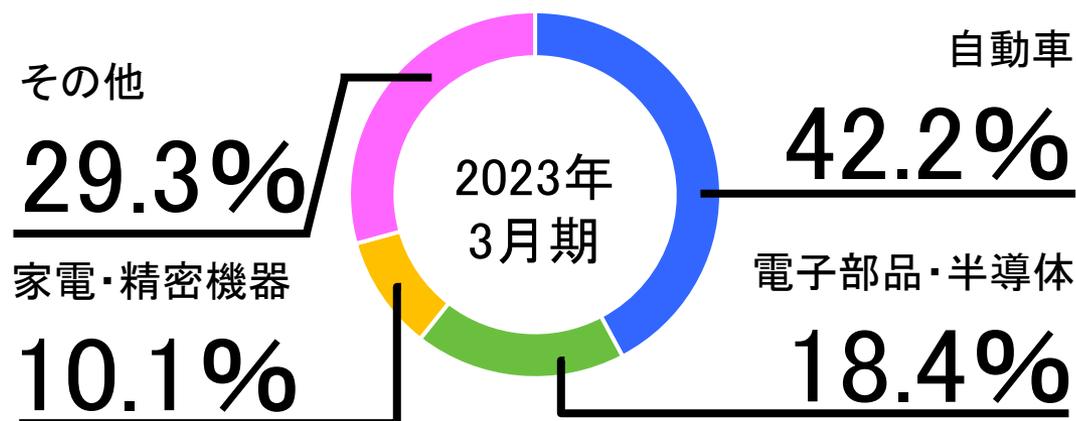


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

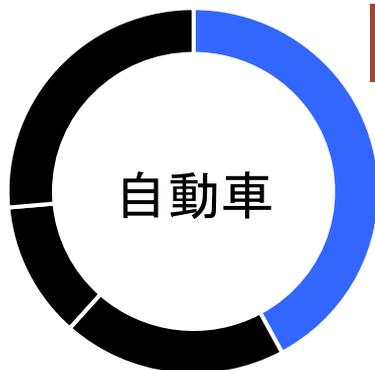


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



主要顧客

自動車メーカー及び
Tier1,2
金型メーカー



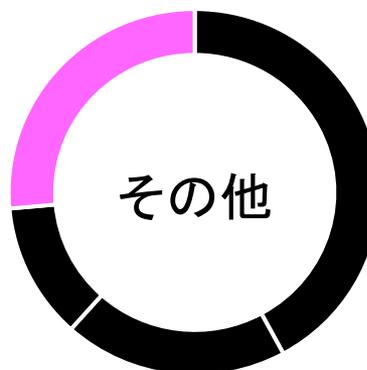
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー

エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー

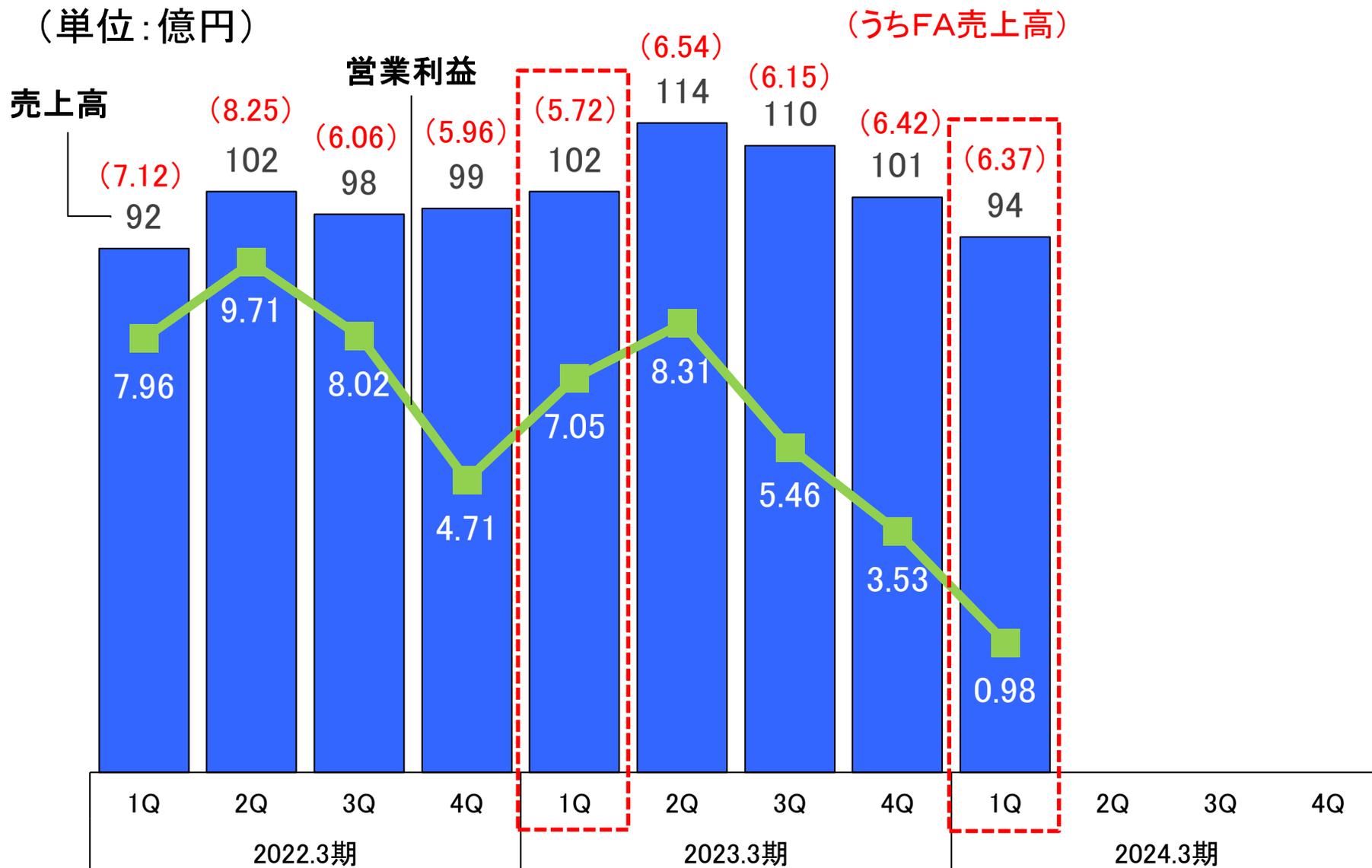


パンチグループ



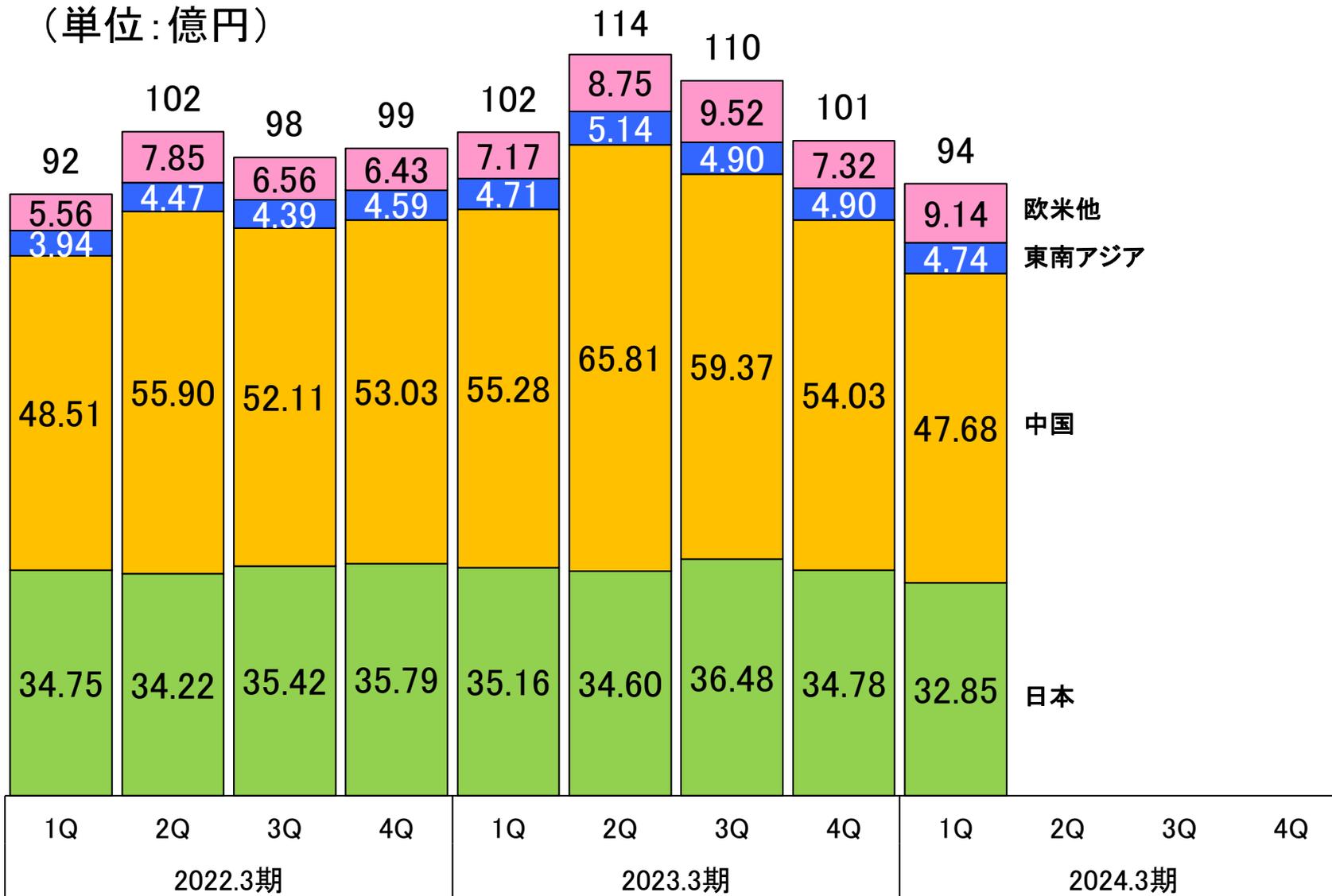
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



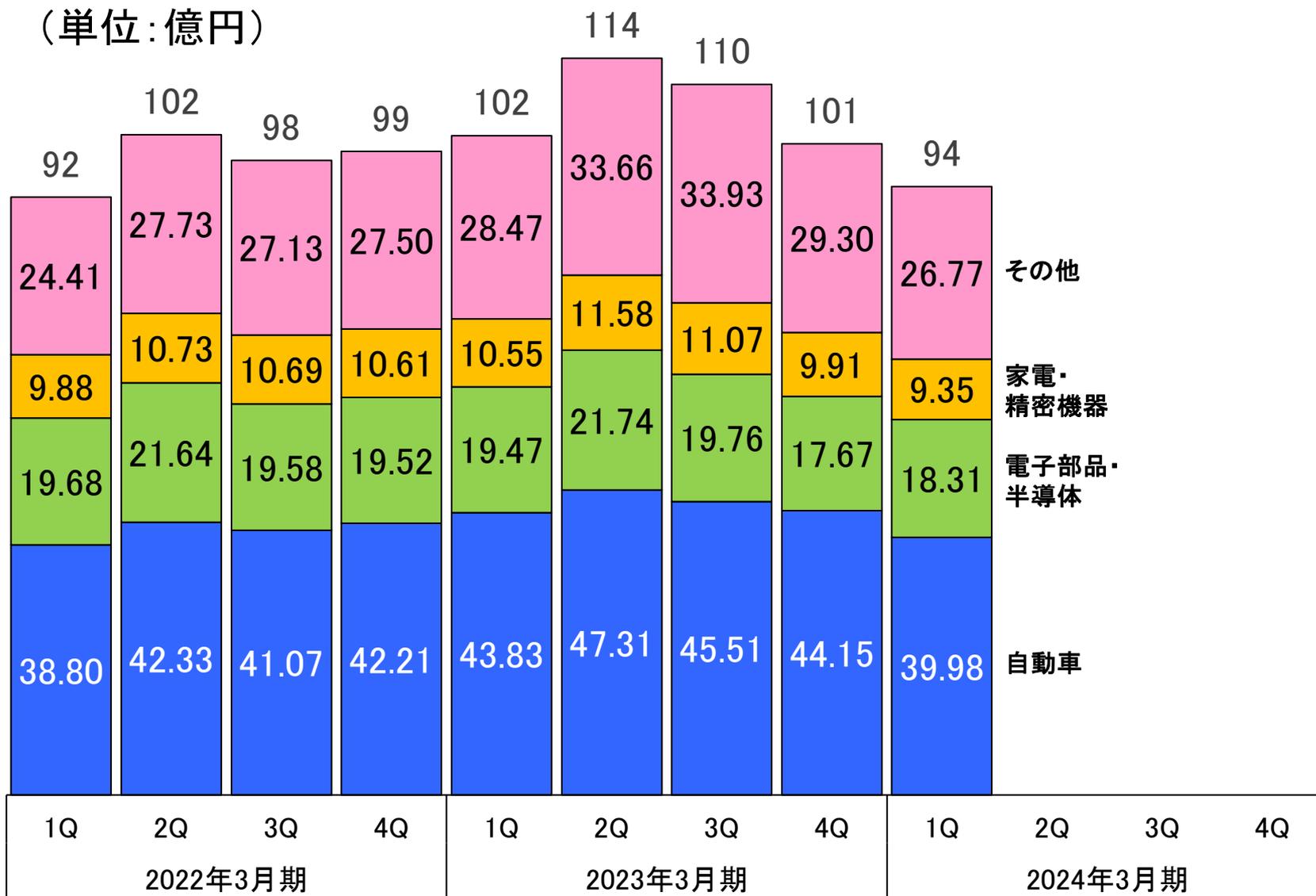
地域別売上高

(単位:億円)



業種別売上高

(単位: 億円)





【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。